

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

昭和56年3月23日 第48報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	60		
(黄鞭) <i>Mallomonas akrokomos</i>	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	60		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	2120	◎	◎
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	400	○	
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	320		
(珪) <i>Synedra ulna</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	260		○
(み) <i>Trachelomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	320		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	20		
(緑) <i>Ankistrodesmus</i> sp.	40		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	100	2.6	3.2
(珪) 珪藻綱	3020	79.5	62.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	260	6.8	25.4
(み) みどり虫藻綱	40	1.1	0.5
(緑) 緑藻綱	380	10.0	8.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	3800	総体積	1.74E+06
種類数	14	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

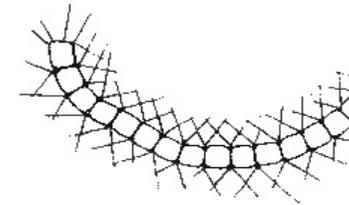
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Cyclotella glomerata</i>	2120

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Fragilaria crotonensis</i>	400

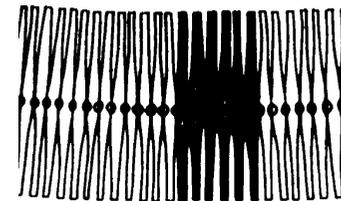
### 植物プランクトン第1優占種



***Cyclotella glomerata***  
(ヒメマルケイソウ)  
珪藻綱

細胞は、横から見ると長方形に見えるが、真上から見ると円形に見える。その直径は4~10 $\mu\text{m}$ と小さい。多数が鎖状に結合して群体をなす。

### 植物プランクトン第2優占種



***Fragilaria crotonensis***  
(オビケイソウ)  
珪藻綱

多数の細胞が中央殻面で互いに接しあつて、帯状の群体を形成して浮遊する。